

医師のコラム

消化器がんについて

朝霞台中央総合病院

医学博士 消化器内科 竹越 聡

はじめに

日本人の死亡原因第一位はがんです。近年消化器がんである胃がんや大腸がんは検診などにより早期に見つかる方が増えてきていますが、まだまだ多くの方が毎年胃がんや大腸がんで亡くなっています。一般的にがんと言うと怖いイメージがあると思いますが、最近では内視鏡で採れるようなごく早期のがんで見つかることも多くあります。がんはだれにでも生じる病気です。自分は大丈夫だろうと思わず定期的ながん検診などの検査による早期発見早期治療をお勧めします。

肝炎ウイルスと肝機能異常

みなさんの中で健診などで肝炎ウイルスを指摘されたり、肝機能が異常だと言われて受診するように勧められているにも関わらず無症状だからと放置している方はいませんか。肝炎ウイルスや肝機能異常を放置することによって生じる肝臓がんは、がんにおける死亡率第四位を占める病気であり無症状であるからと放置できないばかりか、治療機会を逃し病気が進行する可能性があります。

肝臓がん

肝臓がんの多くは長期間の肝炎ウイルス感染による慢性肝炎や肝硬変から発生します。慢性肝炎は自覚症状がほとんどありませんが、特に多いB型やC型肝炎ウイルスは日本人の約百人に一人が罹患しており、放置すると病気が進行する可能性があります。

このため肝臓がんを予防する目的で、厚生労働省が中心となり肝炎治療に対して治療ガイドライン作成および肝炎治療特別促進事業による医療費補助が行われております。皆さんの中で以前肝炎と言われていたりして治療を勧められたにも関わらず治療費が高いからと諦めていた方は今なら医療費補助が受けられる可能性があります。また残念ながら病気が進行し肝硬変となった場合身体障害者申請を受けることもできます。

脂肪肝でも要注意

肝炎ウイルスだけでなく健診などで脂肪肝を指摘された場合も注意が必要です。アルコールを飲むことでアルコール性肝炎から、また最近ではアルコールを飲まなくても非アルコール性脂肪肝炎から肝臓がんになる可能性があると言われていています。

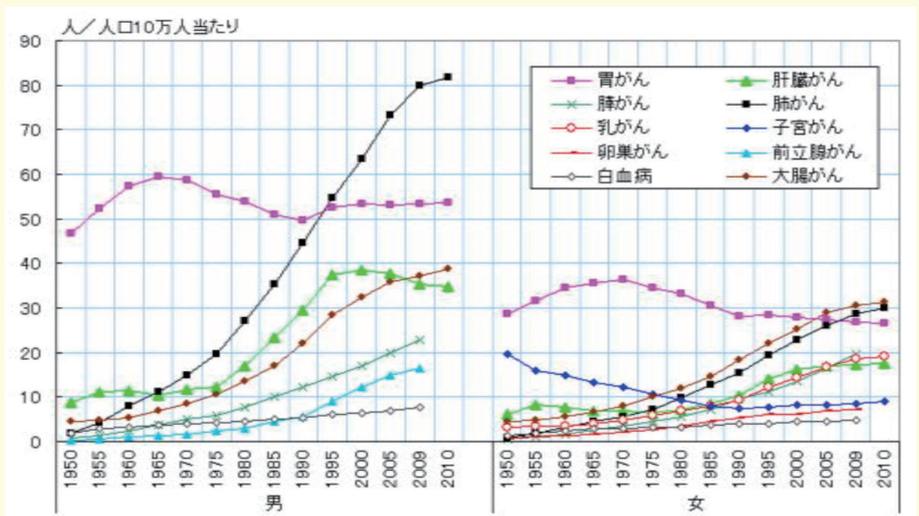
消化器の専門医

胃がんや大腸がん、肝臓がんが心配だけどどの先生に受診していいかわからないという方も多いと思います。そのような場合、一般的な消化器の病気については消化器病学会認定専門医、胃カメラや大腸カメラを希望する場合は消化器内視鏡学会認定専門医、肝臓については肝臓病学会認定肝臓専門医にそれぞれご相談ください。特に肝臓専門医は朝霞・和光・新座・志木など埼玉県南西部において数名しかおりません。専門医の所在については各学会ホームページを参照し受診してください。

おわりに

多くの消化器がんは早期発見早期治療で進行を予防できるものがほとんどです。それだけに健診などで異常を指摘された場合早期の外来での検査をお勧めします。特に一度でも肝機能異常を指摘された方、肝炎ウイルスを指摘された方、脂肪肝と言われた方は当院内科受診のうえ肝臓専門医までご相談ください。

主な部位別がん死亡率の推移



(注) 肺がんは気管、気管支のがんを、子宮がんは子宮頸がんを含む。
大腸がんは結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸のがんの計。2009年は年計(概数)
(資料) 厚生労働省「人口動態統計」